

## 令和5年度（2023年度）医療と介護の連携研修会実施結果

【目的】地域住民が安心して住み慣れた地域で療養生活を継続することができるよう、地域支援者の服薬ケアの向上を図り、薬局薬剤師等と連携した服薬支援体制の構築を推進する。

【テーマ】高齢者の服薬ケアと多職種連携

【主催】留萌保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療・ケア専門部会  
留萌振興局保健環境部保健行政室（留萌保健所）・留萌市・増毛町・小平町

## ●第一部

目 標	1 高齢者の服薬支援に関わる関係者が、嚥下機能低下者の服薬支援について学ぶことができる。 2 高齢者の服薬支援に関わる関係者が、在宅療養する高齢者の服薬支援での工夫点や、多職種との連携で大切にしていることを学ぶことができる。	
テーマ	支援者の服薬ケアの向上（嚥下機能低下者や認知機能低下者への支援）	
日 時 方 法	令和5年11月9日（木）18:30～20:00 オンライン（Zoom） 録画配信：12月20日（水）13:30～15:00	
出席者	留萌圏域の保健医療福祉関係者（申込者をカウント） 76名（34施設） [内訳：11/9 51名、12/20 25名]	
内 容	時 間	内 容
	5分	開会挨拶（在宅医療・ケア専門部会 鈴木部会長）
	60分	講義「摂食・嚥下機能低下者の服薬支援について」 講師：留萌市立病院看護部 摂食・嚥下機能看護認定看護師 太田 充 氏
	25分	実践報告：「在宅高齢者の服薬支援について～ 服薬支援で大切にしていることや工夫点、多職種連携について」 報告者：増毛町地域包括支援センター 所長補佐 石坂 直子 氏

## ●第二部

目 標	1 高齢者の服薬支援に関わる関係者が、薬局薬剤師と連携した服薬支援の必要性や連携方法について学ぶことができる。 2 グループワークを通して、自分ができる服薬支援や役割、薬剤師等の他支援者とのように連携するとよいかを考えることができる。	
テーマ	『薬局薬剤師と連携した服薬支援の必要性や連携方法の理解』 『多職種連携のために各機関・職種ができる取組について考える』	
日 時 方 法	(2) 第二部 令和5年11月17日（金）18:30～20:00 ハイブリット（Zoom+会場） *会場受講：留萌振興局2階講堂	
出席者	留萌圏域の保健医療福祉関係者（申込者をカウント） 54名（29施設） [内訳：会場9名、Web45名]	
内 容	時 間	内 容
	18:30	開会挨拶（在宅医療・ケア専門部会 鈴木部会長） *部会長：会場
	18:35～19:15	講義：「医療財政危機の今、多職種連携で何が出来るか？ ～連携で見えてきた調剤薬局の出来ること」 講師：北海道ファーマライズ留萌大町薬局 所長 吉田 龍 氏
	19:15～19:55	グループワーク（意見交換・感想）
	19:55～20:00	まとめ
	20:00	閉会

\*開会挨拶・講義のみオンライン（Zoom）配信。グループワーク以降は、会場者のみの受講。

